



ご使用になる前に
この取扱説明書を最後まで
お読みのうえ正しくお使い
ください。

一般家庭用

おろしの達人 YDS-350専用
とろろアタッチメント

YDS-T

取扱説明書

お買上げいただきありがとうございました。

なお、この取扱説明書は、大切に保管してください。

万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告



禁止

カッターが完全に停止するまではふたを外したり、容器や投入口に指やスプーン・箸など長芋以外のものを入れない

- けがの原因になります。



接触禁止

取り付けや取り外しの際はカッターの刃の部分に直接手で触れない

- けがの原因になります。



プラグを抜く

容器などをセットするときや取り外し、お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く

- 不意に動作してけがをしたり、ショート・感電の原因になります。

注意



指示に従う

1回の運転時間は3分間以内とする

- モーター故障などの原因になります。
3分間以上の連続運転はしない。3分間ごとに20分以上の休みを入れてください。

おろしカッターが完全に停止したのを確認してから電源プラグを抜き差しする

- けがや故障の原因になります。

容器からとろろを取り出すときは、本体(YDS-350)付属品のスプーンを使用して取り出す

- けがの原因になります。

注意

運転中に移動したり、ふたや容器を本体から外さない
●けがや故障の原因になります。

長芋をおろすとき、必要以上の力で押込棒をpushさない
●故障や事故の原因になります。
軽くpushさえれば長芋はおろせます。

押込棒以外のものでも長芋をpushさない
●故障や事故の原因になります。

長芋の量が多すぎたり、その他の原因で回転が止まったときは、そのままの状態で使用しない
●故障や事故の原因になります。

食器乾燥機、食器洗い乾燥機などに入れて乾かさない
●変形や破損の原因になります。



禁止

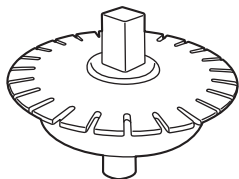
お手入れに関するご注意

- ご使用後は、必ず毎回きれいに洗ってください。
- 台所用中性洗剤で、スポンジまたは柔らかいふきんを使い、水またはぬるま湯で洗ってください。
- シンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しないでください。

とろろアタッチメントで長芋をおろすには、機器本体「おろしの達人 YDS-350」を別途お求めいただく必要があります。

ご使用の際は、本書と「おろしの達人 YDS-350」の取扱説明書を必ずよくお読みください。

各部の名称



とろろ拡散プレート
… 1 個



とろろ侵入防止カバー
… 1 個

- とろろが容器中央から容器外にあふれるのを防ぐ役割をします。

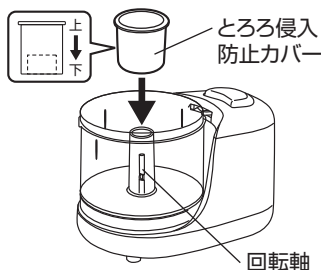
セットのしかた

※とろろアタッチメントをセットするときや、ご使用になるときは必ず本体(YDS-350)の取扱説明書をご参照ください。

- 1** 本体の説明書に従い容器をセットする
※容器の中に汁切りプレートがセットされている場合は、必ず取り外してください。汁切りプレートがセットされた状態では、とろろアタッチメントをセットすることができません。

- 2** とろろ侵入防止カバーをセットする

- とろろ侵入防止カバーを右図のように、上下に注意して容器中央にセットする。

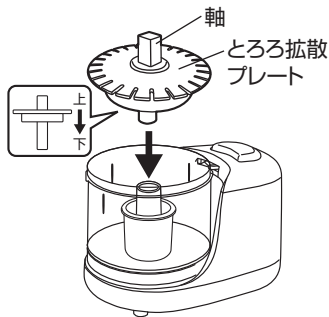


セットのしかた つづき

③ とろろ拡散プレートをセットする

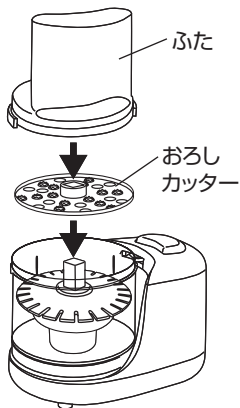
●とろろ拡散プレートを右図のように、上下に注意して回転軸にセットする。

※とろろ拡散プレートの軸をつまんで軽く回して、とろろ拡散プレートが回転しなければ回転軸にかみ合っています。



④ 本体の説明書に従いおろしカッターとふたをセットする

※取り付けや取り外しの際はカッターの刃の部分を手で触れないでください。けがの原因になります。



※とろろ拡散プレートなどが正しくセットされていないとふたが正しく閉まりません。

※ふたがロックされていないと「ふたロックスイッチ」が働いて、スイッチを押しても運転しません。

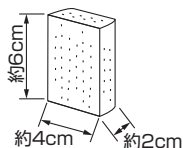
長芋の下準備

いちょう芋、つくね芋、じねんじょは粘り気が強く、容器外にあふれ故障の原因になるため、おろすことはできません。

1回に投入できる長芋の大きさ

- 右図のように長芋の皮をむき、幅約4cm×高さ約6cm×厚み約2cm(約65g)以下にカットする。

〔とろろご飯を作る場合、とろろ約100gが1人前の目安になります。とろろの分量はお好みに合わせてください。〕



とろろをおろす場合の最大容量は200gまでです。

- 200g以上おろす場合は、容器にたまったとろろを取り出してからおこなってください。

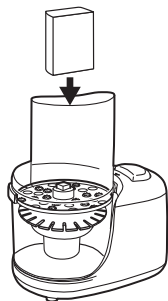
※取り出さずに続けると、とろろが侵入防止カバーを越え、容器中央から容器外にあふれたり、回転軸をつたって本体内部に侵入し故障の原因になります。

もしも容器からあふれてしまった場合は、すぐに運転を停止し、容器などを全て取り外して、回転軸周辺に付着しているとろろをふき取ってください。故障の原因になります。

使いかた

1 長芋を投入口に入れる

- カットした長芋を投入口に入れる。
※長芋の大きさは1回に投入できる大きさ以下にしてください。



使いかた つづき

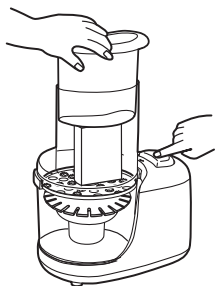
② 電源プラグを差し込み、長芋を 押し棒で押さえながらスイッチ を押す

●押し棒は軽く押さえる。

※運転スイッチを押している間だけ
おろしカッターが回転します。

※長芋をおろすとき、必要以上の力
で押し棒を押さないでください。
故障や事故の原因になります。

※1回の運転時間は3分間以内にしてください。モーター故障
などの原因になります。3分間以上運転する場合は、3分間
ごとに20分間以上の休みを入れてください。



③ 長芋をおろし終えたら運転を停止し、電源プラグを コンセントから抜く

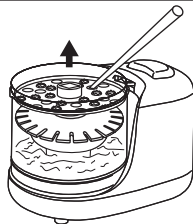
●おろしカッターが停止したのを確認し、「セットのしかた」
の逆の順序で各部品を外す。

●とろろを本体付属品のスプーンを使用して取り出す。

※連続しておろす場合は、おろしカッターの上におろしきれない
長芋が少量残りますので、取り除いてからおこなってください。

ご 注 意

※おろしカッターを外すときは、
箸などをカッターの穴に差し込んで
取り外してください。カッター
中央部（差し込み部）を直接
持つと、とろろですべり取り外し
にくく、けがの原因になります。



お手入れのしかた

- とろろ拡散プレート・とろろ侵入防止カバーのお手入れ
- 台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯で、スポンジまたは柔らかいふきんを使って洗う。
洗剤分が残らないように水で洗い流し、乾いたふきんで十分に水分をふき取って乾燥させる。
※ご使用後は、必ず毎回きれいに洗ってください。
※シンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しないでください。

製品に関するお問い合わせ

- 損傷などの初期不良や欠品、またはこの製品についてのお取扱い・お手入れ方法などのご相談は、「山善 家電お客様サービス係」にお問い合わせください。

「山善 家電お客様サービス係」

ダイヤル  0570 -077 -078

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。

受付時間：10：00～17：00（土・日・祝日を除く）

- FAXまたはEメールでのご相談も受け付けております。その際は、商品名・形名・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、お問い合わせください。

- FAXでの ^{ファクシミリ} ご相談は  0120 -680 -287

- Eメールでのご相談は info_m@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には商品名・形名をご連絡ください。

J-110725